



今月のこよみ

隔月発行

男女雇用機会均等月間

不正改正申請除動産課月間

県民の友

主な記事

- 2面 4期わかやま女性100人委員会
- 3面 子育て県民のみでまへへ、和歌山県人会 / This is 和歌山ブランド4
- 4面 これからの花つくり、和歌山工科大学新構
- 5面 夏休み特集 / 土砂災害防止月間
- 6~7面 お知らせ / 同和連載
- 8面 わかやま北南ニュース

発行 和歌山県知事公室 広報広聴課

〒640-8555 和歌山県小松原通1-1 ☎073 (432) 4111



県民の生命を守って

県立医科大学附属病院の一年

県立医科大学附属病院が紀三井寺に移転して1年が過ぎました。現在、1日当たり約720人の入院患者と約1,300人の外来患者が治療・受診されています。各科の専門医が垣根を越えて共同でがん治療に当たる集学的治療や、とう痛緩和の専門病棟も新設し、成果を上げています。

附属病院は、ICU（集中治療室）やCCU（冠状動脈疾患集中治療室）、無菌病室など最先端の医療設備と専門スタッフが、救急医療や高度な治療にも即応できるよう24時間体制で備えています。

また、身近な試みとして、受付で長時間待っていたりすることのないように電話予約センターを開設（左記参照）するとともに、初めての外来患者でもスムーズに受診できるよう、院内を案内するボランティア活動を始めると、患者の立場に立ったサーブ向上に病院をあげて取り組んでいます。



救急医療用ヘリポート

お知らせ**県立医大附属病院
電話予約センター6月1日運用開始**

- 専用電話番号 073 (441) 0489
- 受付時間 月～金 8:30～16:00
- 受付内容
- ①初診の予約（病院・診療所の紹介状のある人）
 - ②再診予約の変更・キャンセル
 - ③その他予約に関すること

4期

わかやま女性100人委員会 始動！～より良い和歌山を創るために～

県民の皆さんが県政をよく理解し、また同時に皆さんの声がストレートに県庁に届く。そんな機会のひとつとして発足した「わかやま女性100人委員会」も、着実に成果をあげながら回を重ね、この度4期委員会が始まりました。

今後、県内4つのブロックに分かれて意見を交換する地域会議や研修会、全体会議などで話し合いを重ね、1年後に県政に対する女性の視点からの提言をとりまとめます。

委員の皆さんの積極的な議論で、故郷がより良くなります。



女性100人委員会の提言が県政に生きます！

～提言施策反映状況～

女性100人委員会からの提言の中には、既に実施しているものや、実施が困難なものもありますが、今後県政で反映させていくものもあります。平成12年度から実施していく主な提言を紹介します。

【産業】

提言

- 食料に対する安全性が求められるが、有機栽培による農作物づくりを進めるため、ガイドラインを策定し、一定基準を満たした農作物にラベルを貼り、消費者が安心して購入できるようにする。

平成12年度に、有機農産物（農薬や化学肥料を全く使わない栽培を3年以上行っている畑で生産された作物）の販売には、国が認定した認証機関による認証と有機JASマークの貼付が義務づけられます。県では農家による有機農産物の認証取得に対し支援活動などを行う「安心わかやまの農産物認証」を実施します。また、減産農産物等については、県独自の基準や認証制度を検討しています。

【福祉】

提言

- 高齢者が楽しめるサークルづくりなどを進める。
- 長年の経験を生かした高齢者のボランティア活動を地域で推進する。

これまで高齢者のボランティア活動や生きがいづくりなどを推進していますが、今年度は高齢者の豊かな知識や特技等を次の世代に伝えるイベント（いぶし銀祭り）を来年1月に開催する予定です。生きがい・健康づくりの各種イベント等をおとして、高齢者がいきいきと明るく、生きがいをもてる社会づくりをさらに進めています。

提言

- 誰もが障害者（児）とコミュニケーションをとれるようになる。例えは手話を学ぶなど。

子どもたちの豊かな感性とやさしい心が素直に行動へつながるように、障害のある人に対するサポートの仕方をわかりやすく説明したガイドブックを作成し、県内の小学6年生を対象に配布します。それを使って、手話やガイドヘルプ、車椅子介助の講座を開催し、障害者に対する理解を深め、困っている人を見かけたら自然とサポートできる子どもたちを養成します。

【環境】

提言

- 県内の大気中のダイオキシンを定点観測する。

平成12年度から5年間で大気、水質、土壌についてダイオキシン類の環境調査を行い、県内の実態を把握し、公表します。

提言

- 行政が各企業にダイオキシン検査を実施するよう要請する。

今年1月にダイオキシン相対策特別措置法が施行され、特定施設設置者にダイオキシン類について年1回以上の測定義務が課せられました。県では、今後とも各事業者に対して法の遵守を指導するとともに、総合的なダイオキシン類の防止対策を行っていきます。

提言

- 多くの人が自然に触れ親しみ、自然のすばらしさを知る機会を提供する。また、ボランティア指導者を養成するとともに、自然に関する学習と実践への組織づくりに対して援助する。

平成12年度に、環境にやさしい行動を考え体験する「エコラリー」を開催します。また、平成10年度から行っている生石高原のススキ刈り取り会については、ボランティアの組織化を支援し、その自主的な企画運営により、今後も続けて行く予定です。

【子育て・教育】

提言

- もっとゆとりのある教育をする。
- 子どもたちのストレスを和らげるため、学校や地域社会で自然とのふれあいなど様々な体験活動に取り組む。

平成12年度から新しい学習指導要領への移行が始まりました。新学習指導要領では、教育内容を厳選し、基礎基本を重視するとともに、ゆとりのある教育をめざします。教室だけでなく故郷の海、山、川での体験や地域での社会体験など、子どもたちが興味を持って取り組むことができる「総合的な学習の時間」を創設し、体験的な活動や問題解決的な学習をおとして、知識の習得だけでなく、現在・未来を豊かに生きる力を養います。

提言

- 県内に大学が少ないため、多くの人が県外の大学に進学せざるを得ないのが現状。県内に大学を誘致してほしい。

和歌山工科大学を田尻南白浜空港跡地（白浜町）に設置し、平成15年度に開学する予定です。この大学では航空宇宙工学をテーマに実践的かつ高度な教育、研究を行います。

提言

- いつでも誰でも気軽に利用できる生涯学習センターを地方に設置する。

田辺市に、総合教育センター（仮称）を建設します。このセンターでは生涯学習のための学習コーナーやコミュニティホール（体育館）などがつくられ、また県立図書館南分館も併設される予定です。なお、県立図書館では生涯学習情報を提供するホームページを開発しています。ホームページ <http://wgs.wakayama-lib.go.jp/>

南米に花咲く和歌山県人会

南米で最大規模の県人会であるブラジル和歌山県人会(会長 地坂満夫氏、会員780世帯)が設立45周年を迎えました。これを機に、県からの補助を受け県人会館を改築しました。この竣工式と県人会設立45周年記念式典が4月23日にサンパウロ市で盛大に開催され、県からは高瀬副知事(知事代理)や下川県議会議長らがお祝いに駆けつけました。

また、併せてペルー和歌山県人会(会長 ルイス・ドテモト氏、会員80世帯)も訪問しました。

本県の移民の歴史は古く、ブラジルへは大正6年に、ペルーへは明治41年に移住した記録が残されています。移住された人の多くは様々な苦勞を重ねられ、それをいしずえに現在の県人会の発展があります。

今回、本県ゆかりの人々の活躍ぶりにふれ、和歌山県人の進取の気性を改めて認識しました。

母国を遠く離れた南米の大地に、しっかりと根を下ろした両県人会のますますの発展を期待します。



ブラジル和歌山県人会館



ブラジル和歌山県人会



ペルー和歌山県人会

拝啓 県民のみなさまへ

半袖に衣替えした1年生。背中が隠れるほど大きいランドセルを背負って元気に駆けていく姿に、思わず微笑んでしまいます。

先日、児童養護施設を訪問する機会がありました。この施設は、いろいろな理由で家族と離れて生活をしている子どもたちの施設です。

最初は緊張気味だったものの徐々にうち分け、「知事さんも元気ががんばってください。」と逆に励まされた次第です。訪問の締めくくりには和太鼓の演奏を披露していただきました。年少の子どもから中学生までが息を合わせ額に汗をにじませ、ひたむきに演奏する姿に、勇気づけられるとともに心を和ませられた一日でした。



児童養護施設訪問

また、子どもは大人を写す鏡とも言われます。私も含め大人一人ひとりが、子どもたちの範となるような行動を心がけることが、今、何よりも大切ではないでしょうか。

和歌山県知事 西口勇

いつの時代にも変わらぬ大切なことはたくさんありますが、人づくりもその一つです。21世紀を目前に控え、次代を担う子どもたちが、将来に夢を持ち生き生きと過ごせる、暖かく心通う県政の必要性を一層強く感じています。

和歌山の魅力 再発見④

This is 和歌山ブランド

和歌山県産品の中には、生産量日本一を誇る物、全国に先がけて生産された物、本県の地域性を活かした独創的な物など、様々な「和歌山ブランド」があります。県民の皆さんに「和歌山ブランド」を知っていただき、ふるさと、和歌山の魅力を再発見していただければと思います。

桃

みずみずしさの代名詞

みずみずしさと甘い香りが魅力の桃は和歌山県を代表する果物の一つ。全国4位、近畿ではナンバーワンの生産量を誇っています。

県内では、桃山町や粉河町を中心にその周辺市町村が主な産地。桃山町は、昭和31年の町村合併の際に、地域の特産物の桃を新しい町名に取り入れたほど、桃に深い思い入れのある町で、県内出荷量の約3割を生産しています。

桃には、「白鳳」と「白桃」の2つの大きな系統があります。和歌山県でさかんに栽培されているのは、収穫時期が比較的早い「白鳳」系の桃で、今月下旬から本格的な収穫期を迎えます。桃は、果物の中でも特に傷みやすい果物の一つで、ペテラ農家の人でも慎重な上にも慎重な扱いを要します。表面の産毛にも気を遣うほどで、この丁寧な扱いが、高品質な「和歌山の桃」を支えています。



今も昔もかわらぬ健康食品

梅干

本県を代表する果実の梅から作られる梅干、和歌山県を代表する味覚です。青々と繁茂する木に鈴なりになった梅の実が、梅雨のこの時期一雨ごとにふくらんでいきます。

梅干の中でも最高級の折り紙が付くのは、「南高」と呼ばれる大粒で肉厚の品種から作られるものです。完熟させた実を一粒一粒丁寧に

収穫し、水洗いの後、塩漬にします。土用の頃、三日三晩天日干しにされ、酸っぱさの中にも上品な味わいの「紀州の梅干」ができあがります。梅干は、万病に利く薬として、また疲労回復やのどの潤きをいやす携帯食として平安時代の昔から食べられてきました。現代でも、海外旅行の際に必ず持つていく人が大勢いるほど日本人にはなくてはならない存在です。その中で名実とも「紀州の梅干」は日本一です。



寿司のルーツ

なれ寿司

「なれ寿司」は、琵琶湖の「フナ寿司」、東北地方の「ハタハタ寿司」と並んで日本三大伝統寿司として有名です。これらの寿司は、酢を使わず飯の乳酸発酵による独特の味を持つことが特徴で、保存にも適し、平安時代の書物『延喜式』に紀伊の国から朝廷へ献上されたという記録が残っています。

2合強のご飯を開いたサバの形に握り、その上に塩漬けたサバをそのまま乗せて、アセの葉で丁寧に巻き、木製の桶にすき間なく詰めていきます。重石を乗せ、じっくり約2週間発酵させると、独特の風味のなれ寿司ができあがります。

地域によっては、サバの代わりにアコヤサマを使うところもあります。それぞれが地域色豊かな風味を醸し出し、郷土の味を今に伝えています。



せとじな
SATOJINA
www.satojina.com



県民プールのご案内

利用料金 大人350円 子ども(16歳未満)180円
 幼児及び小学校低学年の児童は必ず保護者が同伴してください。※各プール共通の回数券もあります。

	開催日	開催時間
秋葉山プール ☎073 (444) 2361	7月1日～8月31日(毎週月曜日と7月9、21～26日、8月1、2、6、8日は休み)	10:00～17:00(7月15日～8月15日は18:00まで、この期間の日曜日は9:00～18:00)
大新プール ☎073 (422) 3302	7月1日～8月31日(毎週火曜日と7月21～23日、8月4～6、13、27日は休み)	12:00～17:00
河西プール ☎073 (452) 4411	7月1日～8月31日(毎週月曜日は休み)	10:00～17:00(7月15日～8月15日は18:00まで)



夏休み 特集

紀の国野外博物館

教室名	開催日	場所	定員	費用
夜の水族館をのぞいてみよう1	7月20～21日(1泊2日)	県立自然博物館	20人	3,000円
豊後高野に三木を求めて	8月1～3日(2泊3日)	高野町	16人	9,000円
恐竜時代の化石を掘ってみよう	8月8～9日(1泊2日)	金剛町	16人	4,000円
夜の水族館をのぞいて見よう2	8月10～11日(1泊2日)	県立自然博物館	20人	3,000円
夜の水族館をのぞいてみよう3	8月24～25日(1泊2日)	県立自然博物館	20人	3,000円

対象 小学5年～高校生(申込多数の場合は抽選)
 申込 往復八万半に希望教室名、氏名(ふりがな)、学校名、学年、住所、電話番号、保護者名(併印)を記入し、7月7日までに県立自然博物館



魚の餌やり体験をしよう

日時 7月8日13:30～16:30
 場所 県立自然博物館
 定員 20人
 対象 小学5年生以上(申込多数の場合は抽選)
 申込 往復八万半に住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、6月27日までに県立自然博物館「魚の餌やり体験をしよう」係
 料 県立自然博物館 〒642-0001 海南市出縄370-1 ☎073 (483) 1777

わくわくボランティア

内容 ボランティアの基礎的研修、福祉施設等での実地体験、キャンプファイアなど
 期間 8月8～11日(3泊4日)
 場所 瀬坪青少年の家(串本町)
 対象 中学・高校生、富ろう、養護学校の中学・高等部生、高等専門学校生
 申し込み方法等々わくわくは、教育委員会生涯学習課 ☎073 (441) 3725

木の楽器と演奏会

木製楽器カリンバの制作と演奏会
 期間 6月24～25日(1泊2日)
 場所 紀北青少年の家(かつらぎ町)
 対象 県内在住の高校生以上40人(申込多数の場合は抽選)
 費用 30歳未満6,000円、30歳以上1,640円
 申込 6月20日までに会場へ電話 ☎0736 (22) 5530
 問合せ 申込先

キャンプ夏物語

仲間と楽しむグループ活動とひとりで夜を過ごすソロキャンプ
 期間 計画案＝7月8～9日、実行案＝7月30～31日(各1泊2日)
 場所 瀬坪青少年の家(串本町)
 対象 県内在住の小学5年～高校生30人(先着順)
 費用 小・中学生5,000円、高校生5,230円
 申込 6月13日から会場へ電話 ☎0735 (62) 0182
 問合せ 申込先

白崎ネイチャークラブ・夏(自然塾)

海で遊ぶ、夏の生き物と触れ合う
 期間 7月8～9日(1泊2日)
 場所 白崎青少年の家(由良町)
 対象 県内在住の小学4年～中学生40人とその家族(申込多数の場合は抽選)
 費用 小・中学生4,310円、保護者4,880円
 申込 6月24日までに会場へ ☎0738 (65) 2351又はFAX0738 (65) 2352
 問合せ 申込先

ファミリー昆虫採集のついで

期間 7月22～23日(1泊2日)
 場所 白崎青少年の家(由良町)
 対象 県内在住の小・中学生とその家族(15家族(申込多数の場合は抽選))
 費用 小・中学生1,790円、青年1,900円、一部2,360円
 申込 6月20日までに会場へ ☎0738 (65) 2351又はFAX0738 (65) 2352
 問合せ 申込先

エコロジーキャンプ(ヘアキャンプ)

野外活動を通じ、環境問題を考えよう
 期間 7月25～26日(1泊2日)
 場所 紀北青少年の家(かつらぎ町)
 対象 県内在住の小学4年～高校生15組(二人一組)(申込多数の場合は抽選)
 費用 小・中学生3,000円、高校生3,120円
 申込 8月10日までに会場へ電話 ☎649-7112かつらぎ町中飯1317-3
 問合せ 申込先 ☎0736 (22) 5530

「社会を明るくする運動」作文コンテスト

題材 犯罪や非行等について、考えていることや感想や学校で感じていること、マスメディアで取り上げられていること

規格 400字詰め原稿用紙6枚程度
 対象 県内在学の小・中学生

申込 8月10日までに「社明運動」事務局〒640-8143和歌山市二番丁2

和歌山保健観察所内
 問合せ 申込先 ☎073 (436) 2601



毎年6月は 「土砂災害防止月間」です

土砂災害に関する情報については砂防ホームページをご覧ください。最寄りの市町村や各振興局建設部にお問い合わせください。ホームページ <http://www.wakayama.go.jp/sabo/>

(社) 青少年育成協会は、青少年の健やかな成長のための各種事業を実施しています。本年度から、紀北、白崎、瀬坪の3青少年の家の運営管理を新たに加え、事業を一層充実しました。
 和歌山ビッグスクエア 8F ☎073 (436) 5236

「県民の友」を掲載している和歌山県のインターネットホームページはhttp://www.wakayama.go.jp/

おしらせ INFORMATION

Table with 5 columns: 日, 月, 火, 木, 土. Rows 1-5 showing dates from 4/11 to 5/26.

時...期日・時間 場...場所・会場 定...定員 対...対象・資格 費...費用 申...申込・応募方法 聞...お問い合わせ 抽...希望者多数の場合抽選

募集

宅地区分

岩記山台 36区画 平均面積199㎡ 平均価格1,620万円...

高卒大給付希望者

放送大学10月入学生

テレビ、ラジオで学ぶ正規の大学... 入学試験はありません...

県立陸奥高等学校(通信制課程)

16ミリ録音機操作技術講習会

6月16日(伊都総合庁舎) 6月25日(海田市中央公民館)...

和歌山県立高等学校

和歌山県立高等学校

花田光光(和歌山) 8402 花田光光(和歌山) 8402...

和歌山県立高等学校

和歌山県立高等学校

和歌山県立高等学校 和歌山県立高等学校...

「人権文化の創造」を発売

和同問題解決の結集... 本書が県民の皆さんに学習資料として大に活用していただくことにより...

和歌山県立高等学校... 県では、和同問題の解決を県政の重要な柱として位置づけ、県民の皆さんとともに「県民みんなの和同運動」を積極的に推進してきた結果...

和歌山県立高等学校... 和歌山県立高等学校... 和歌山県立高等学校... 和歌山県立高等学校...

わかやま 北南NEWS



わかやま庭工房コンクリート会賞 くろし会 (国産植物公園緑花センター)

こんこと湧き続ける 「野中の清水」の景観保全



環境庁の日本水百選の一つ「野中の清水」が生まれ変わりました。豊面上部の遊歩により清水の半分五割が土砂に覆われ景観が損なわれていましたが、この度、これらを改修するとともに泉の周辺を石垣づくりにするなど名水百選にふさわしい観光名所に整備されました。(中辺路町)



審査と発表

- 審査 関係と委員会が委嘱した審査員による
- 発表 入選者に直接通知
- 展示 限内にて展示、また入選作品をパンフレットとして発行
- 賞 会長(知事)賞 1人 (5万円、賞状、記念品)
特選 1人 (3万円、賞状、記念品)
準特選 若干名 (5千円、賞状、記念品)
入選 若干名(賞状、記念品)
※学生の場合は副賞の図書券とする。

人権フォトコンテスト

テーマ「人のやさしさ、心のふれあい」

身近な日常生活の中にも人権といふ視点で見れば、その大切さを感じさせる場面はたくさんあります。その大切さを多くの人に伝えたいと思ったことはありませんか。そんなあなたの思いを写真を写真で表現してください。

募集規定

- 応募資格 県内在住または通勤・通学の方
- サイズ カラー、白黒ともキャビネサイズ(サービスキャビネ可)以上四つ切り(ワイド四つ切り可)まで、組み写真可。
- 投稿事項 応募票(自作可)にタイトル、撮影年月日・場所、住所、氏名、連絡先電話番号(学生は学校名)、コメントを記入し、作品の裏面に貼付のこと。
- 応募点数 制限なし
- 応募期限 8月31日まで

その他

- 応募作品は、必ず被写体(個人の場合は本人)の了解を得、応募者本人が撮影した未発表のものに限ります。
- 応募作品の使用権は関係委員会に帰属し、原則として返却しません。
- 入賞・入選者は通知があり次期版を提出してください。

応募先・問合せ先

関係委員会 〒640-8585 ☎073(441)3905

催し

- 県立近代美術館 ☎073(436)8690
印象派の巨匠 シスレー イル・ド・フランスの光を受けて 7月8日～9月10日
- 県植物公園緑花センター ☎0736(62)4029
一眼レフで花を写そう ☎ 6月17日
ウォッシュラン屋 6月17、18日
花の水彩画教室 花のスケッチ 6月18日
着色から仕上げ 6月25日
- 初夏の山草展 6月24、25日
水彩画教室作品展 7月1～16日
民間療法と薬草の正しい使い方 ☎ 7月9日
※は事前申込み必要
- 紀伊土記の丘 ☎073(471)6123
企画展「わかやまの民俗」 9月24日まで
子ども歴史クラブ(小学生対象) 6月10日
竹馬に乗ってみよう ☎ 6月18日
赤巻を作ってみよう ☎ 6月18日
※小学4～6年生対象、保護者同伴
- 片岡公園万葉館 ☎073(446)5553
企画展「紀伊国万葉の歌」
碑写真展 8月27日まで

お気軽にどうぞ

- 交通事故相談 ☎073(441)2359
【常設相談】月～全曜日(東牟婁郡長井水産日を除く)
場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局
- 弁護士による相談 ●県庁交通事故相談所 6月19日、7月4日 受付 13～14時 ●東牟婁振興局 6月16日、7月7日 受付 正午まで
- 巡回相談 ●伊都振興局 6月28日 ●西牟婁振興局 6月14日 受付 11～15時
- 農民相談 ☎073(441)2356
【常設相談】月～全曜日 場所 県庁農民相談室
【弁護士による相談】6月23日、7月14日
場所 県庁農民相談室 受付 9～11時
- 移動相談 ①文化センター(車庫前) 6月16日
②市民センター(除神村) 7月4日 受付 13～15時 ※①西牟婁振興局☎0739(26)7906
②日高振興局☎0738(24)2936※電話予約必要(高齢者10人)
- 高齢者相談 ☎073(435)5212
場所 県高齢者社会相談センター(和歌山ビッグウエ)7階
- 【常設相談】月～全曜日
- 【弁護士による相談】6月16日 電話予約必要
- 高齢者子どもの療育相談 ☎073(445)0520
場所 親子とも保健福祉相談センター(県立近代美術館3階)
受付 9～12時、13～16時30分(月～金曜日)

県政広報番組紹介

- テレビ和歌山
テイクオフのくに 21 毎週日曜日
10時～、(再) 22時30分～
- 6月11日「難野の森・川・海」
- 6月18日「ふるさとの日」
- 6月25日「住宅情報いろいろ」
- 7月2日「進む国際化」
【地域中小企業支援センター】
- 7月9日「進めよう!水質保全」
- 県民チャンネル 月～全曜日
20時55分～

- 県政フラッシュ 全曜日 17時40分
からのニュースライフライン内
- ラジオ 和歌山放送
県民マイク 土曜日 14時30分～
県庁だより 毎日 11時40分～
(再) 18時～
- FMCO・CO・LO 76.5MHz
ワカヤマ・メメラルド・サンシャイン
土曜日 11時～
- 文字放送 テレビ西日本 511#
紀の国・和歌山情報 毎日 5～24時

ふれ愛紀州路 キャンベーン「レイ決定」



生涯学習掲示板

人生を生きがいのある充実したものとするために、
あなたも、学んでみませんか。

期日	名称	対象	場所	問合せ先
6～8月	おはなし会(よみかかせ)	一般	県立図書館	県立図書館 ☎073(436)9500
第2、4土曜 6/17、24、7/8	わかやま・ヒューマン・カレッジ	一般	和歌山大学生涯学習 教育研究センター	教育委員会生涯学習課 ☎073(441)3725
6～8月	各種交通安全教室	保育所、幼稚園 小学校、おこクラブ等	希望先	警察本部交通安全課 ☎073(473)1721
7/30、8/13	思得読書ライブラリー映画会	一般	県立図書館	県立図書館 ☎073(436)9500
7～9月	生活教養講座(水曜教室)	一般	県消費生活センター	県消費生活センター ☎073(433)1551
8/19	きのくに志学館お楽しみ発表会	一般	県立図書館	県立図書館 ☎073(436)9530